全体	No.３
個別	02-01

平成２８年度［しまづくり推進部］　組織目標

課　名	未　来　創　生　課

No.	総合計画の区分	挑　戦	全て
		最優先課題	全て
	項　　目	地域循環システムの構築に向け検討を進めます	
	内　　容	「自立するふるさとのしま　対馬」をキャッチフレーズに、「海」「森林」「国際ビジネス」「生ゴミ」「地域コミュニティ」「域学連携」の６つの循環を提唱し、地域資源を活用した産業振興と循環型社会の実現に向けて、平成２６年度に作成した３箇年計画に基づいて、調査や検討を進めます。	
	指　　標 （数値目標）	【今年度】 ・推進本部会議の開催　２回 ・プロジェクト部会（１０部会）の開催　随時 ・市民や議会への進捗状況の公表　　１回 【目標達成年度】 ・同上	
	達成時期	平成２９年３月	

スケジュール

取り組み	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
推進本部会議				○				○				
各部会の開催		→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
市民・議会への進捗状況の公表									○			

全体	No.４
個別	02-02

平成２８年度［しまづくり推進部］　組織目標

課　名	未　来　創　生　課

No.	総合計画の区分	挑　戦	なりわいづくり
		最優先課題	ワクワクする新しい仕事の創造
	項　　目	様々な機関や業種が連携して産業の振興を目指します	
	内　　容	事業者団体、金融機関、大学などの研究機関、行政、その他産業振興に携わる団体等で構成する「対馬市創業支援会議」において、創業を希望する方を多方面から総合的に支援し、産業振興と雇用の増加により地域の活性化を目指します。	
	指　　標 （数値目標）	【今年度】 ・ワンストップ相談窓口での相談受付：年２０件 うち創業者の目標数：年９件 ・創業支援会議の開催 代表者会議２回、ワーキング部会４回（相談件数により増減します） ・異業種間連携交流協議会の開催：２回 【目標達成年度】 ・同上	
	達成時期	平成２９年３月	

スケジュール

取り組み		４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
ワンストップ相談窓口の相談受付		→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
創業支援会議	代表者会議				○						○		
	ワーキング部会			○			○			○			○
異業種間連携交流協議会				○					○				

全体	No.5
個別	02-03

平成２８年度［しまづくり推進部］　組織目標

課　名	未　来　創　生　課

No.	総合計画の区分	挑　戦	ふるさとづくり
		最優先課題	安全安心のインフラ整備

	項　　目	小規模水素ステーション及び燃料電池自動車の導入促進
	内　　容	次世代のエネルギーシステムとして、燃料電池やその燃料となる水素を供給する「水素インフラ」に注目が集まっており、国内自動車メーカーから水素を燃料とする「燃料電池自動車（FCV）」が市場に投入されています。 さらに、太陽光発電などの再生可能エネルギーが大量導入されてきたことから、電力需要のピークカットや電力系統安定化のために水素インフラや燃料電池を活用しようという動きも活発化しています。 このような状況の中、対馬においても、水素社会を見すえ、また、島内資源で製造が可能な水素の利活用を推進するため、小規模水素ステーション及び燃料電池自動車の先進的な導入を図ろうとするものです。
	指　　標 （数値目標）	【今年度】 関係機関（自動車・水素製造装置メーカー等）と離島への導入にあたっての注意すべき諸課題の掘り起こしとその解決に向けた協議を進めます。 【達成年度】 平成３１年度　　小規模水素ステーション、燃料電池自動車の導入
	達成時期	平成３２年３月

スケジュール

取り組み	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
関係機関との協議（随時）		→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
導入済自治体の等への聞き取り（随時）			→	→	→	→	→	→	→	→	→	→

全体	No.6
個別	02-04

平成２８年度［しまづくり推進部］　組織目標

課　名	未　来　創　生　課

No.	総合計画の区分	挑　戦	ふるさとづくり
		最優先課題	安全安心のインフラ整備

	項　　目	木質バイオマスボイラーの整備促進
	内　　容	公共施設への島内エネルギー資源を活用した木質バイオマスボイラーを整備します。
	指　　標 （数値目標）	【今年度】 旧いづはら病院跡地を利用した温浴施設等への木質バイオマスボイラー設備及び付帯設備の整備に向けた計画策定を行います。 【達成年度】 平成２９年度
	達成時期	平成３０年３月

スケジュール

取り組み	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
計画策定							→	→	→	→	→	→
各施設担当部局との協議（随時）			→	→	→	→	→	→	→	→	→	→

全体	No. 7
個別	02-05

平成２８年度［しまづくり推進部］　組織目標

課　名	政　策　推　進　課

No.	総合計画の区分	挑　戦	ひとづくり、なりわいづくり
		最優先課題	複数
	項　目	対馬市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗管理及び必要に応じた見直しを実施します。	
	内　容	昨年度策定した「対馬市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げる各種施策の進捗状況及び重要業績評価指標（ＫＰＩ）を管理するとともに、新たなニーズや社会情勢の変化に応じ、総合戦略の見直しを行います。	
	指　標 （数値目標）	【今年度】 ・総合戦略に掲げる事業・施策の実施状況の把握 ・各重点戦略に掲げる重要業績評価指標（ＫＰＩ）の達成状況の把握 ・必要に応じた戦略の見直し 【達成年度】 ・戦略の期間：平成２７年度～平成３１年度 ・最終的な重要業績評価指標（ＫＰＩ）の達成年度：平成３１年度 ※毎年、達成状況は管理	
	達成時期	平成３２年３月	

スケジュール

取り組み	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
対馬市総合戦略推進会議				●								●
施策・事業計画状況調査		■	■	■								
施策・事業実施状況調査（H27分）		■	■	■								
施策・事業実施状況及び目標達成状況調査（H27分）											■	■

全体	No.８
個別	02-06

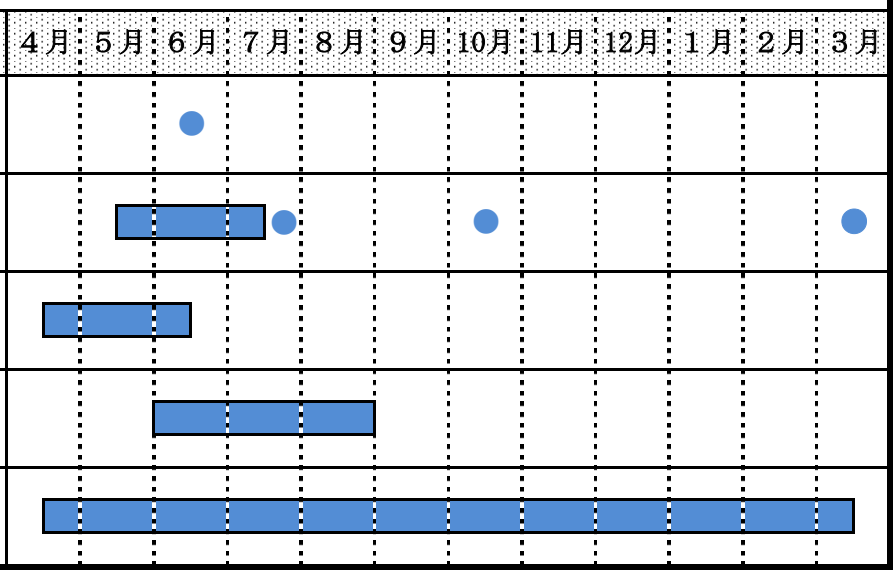
平成２８年度［しまづくり推進部］　組織目標

課　名	政　策　推　進　課

No.	総合計画の区分	挑　戦	全て
		最優先課題	複数

1	項　　目	国境離島新法による国の支援強化のための取り組みを強化します。
	内　　容	本年４月に成立した「有人国境離島地域の保全及び特定有人国境離島地域に係る地域社会の維持に関する特別措置法（通称：国境離島新法）」に定める国の支援策を有効に享受するため、本市ならではの課題、施策に対応した要望及び国への提案を、市内民間機関、市議会をはじめ長崎県及び関係市町と連携し進めます。
	指　　標（数値目標）	【今年度】 国境離島新法の基本方針中、特に①雇用機会の拡充に関する施策及び②安定的な漁業経営の確保に関する施策について、国の平成２９年度予算の概算要望時期に併せ、関係機関の意見、要望を踏まえた提案を県と連携して取り組みます。 【達成年度】 平成２９年度時点（以後毎年）
	達成時期	平成２９年３月

スケジュール



全体	No.9
個別	02-07

平成２８年度［しまづくり推進部］　組織目標

課　名	政　策　推　進　課

No.	総合計画の区分	挑　戦	ふるさとづくり
		最優先課題	対象外

	項　　目	対馬市景観計画の策定を進めます。
	内　　容	対馬市景観計画の策定に向け、景観に関する現況調査を実施するとともに、市職員による作業部会及び外部委員を含めた景観計画策定委員会を設置し、景観形成に向けた課題整理及び景観計画の内容について協議を実施します。
	指　　標 （数値目標）	【今年度】 景観に関する現況調査、課題整理を行い基本方針を策定し、対馬市景観計画策定に向け作業を進めます。 【達成年度】 平成28年度：基本方針の策定 平成29年度：景観計画策定
	達成時期	平成３０年３月

スケジュール

取り組み	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
委員会の開催（年３回）				●				●				●
景観に関する現況調査					―	―	―					
景観形成に向けての課題整理							―	―	―			
景観計画区域の設定										―		
景観形成に関する基本方針の設定										―	―	―

全体	№１０
個別	02-08

平成２８年度［しまづくり推進部］　組織目標

課　名	市民協働・交通対策課

No.	総合計画の区分	挑　戦	ひとづくり
		最優先課題	外から若者を招き入れる
	項　　目	域学連携による地域づくりを推進します	
	内　　容	大学と地域が連携し、様々な地域課題の解決に向けた実践的な取り組みを進め、地域資源を活用した新たな産業や社会の枠組みを創出するなど、地場産業や観光産業等の活性化を図るとともに、地域づくりを担う人材の育成にも努めます。	
	指　　標（数値目標）	【今年度】 ①域学連携地域づくり実行委員会の開催　１回 ②インターン学生の受入 ・短期合宿「島おこし実践塾」の開催　３０人 ・現場学「学生実習」の受入　２０人 ・学術研究（学術研究奨励補助研究、自由研究）の受入　４件 ③域学連携活動・滞在拠点施設整備基本計画の策定 ④「対馬学フォーラム」の開催　１回 ⑤こども対馬未来塾の開催（自習スペースと郷土学習の提供） 夏休みこども寺子屋（小中学生対象）　８月 学び舎つしま（高校生対象）　２～３箇所 【目標達成年度】 ・同上	
	達成時期	平成２９年３月	

スケジュール

取り組み		４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
実行委員会										○			
インターン学生の受入	短期合宿					○							
	現場学					→	→	→	→	→	→	→	
	学術研究			→	→	→	→	→	→	→	→	→	
対馬学フォーラム										○			
こども対馬未来塾	こども寺子屋				→	→							
	学び舎つしま	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→

全体	No.１１
個別	02-09

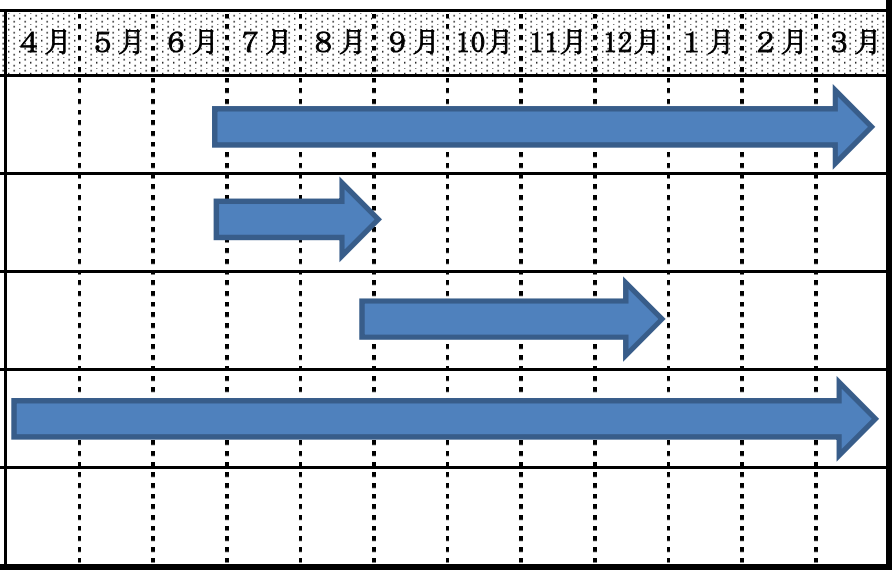
平成２８年度［しまづくり推進部］　組織目標

課　名	市民協働・交通対策課

No.	総合計画の区分	挑　戦	ひとづくり
		最優先課題	外から若者を招き入れる

	項　　目	移住に関する情報発信事業
	内　　容	移住に関する情報（対馬の暮らし、制度、住居、仕事等）の情報を一元的に発信できるホームページの作成を行い、対馬移住情報を広く発信します。 トップページには島の暮らしぶりに加え、対馬移住PR素材となり得る素材の公募等を行い定期的な更新を行っていきます。
	指　　標 （数値目標）	【今年度】 問合せ件数の増大：３５件（前年度２２件） 移住者数の増大：５件（前年度３件） 【達成年度】 恒久的に継続していく施策であり達成年度の設定はできないが、各年度ごとに問合せ、移住者数の増加を目標とします。
	達成時期	平成　　年　　月

スケジュール



全体	No.１２
個別	02-10

平成２８年度［しまづくり推進部］　組織目標

課　名	市民協働・交通対策課

No.	総合計画の区分	挑　戦	つながりづくり
		最優先課題	島内外の移動手段を確保する
	項　目	地域によるコミュニティバスの導入に向け、実証実験を行います。	
	内　容	市内北部の過疎化・高齢化が顕著な旧伊奈小学校区を中心とした地域に、そこに暮らす住民が快適に移動でき、持続可能な新たな公共交通体系の実現に向け、地域が運営するコミュニティバスを導入する実証実験を実施します。 また、将来的には、空き時間を利用した買い物支援や配食サービス、高齢者見守り事業等の実施も目指していきます。	
	指　標 （数値目標）	【今年度】 地域におけるコミュニティバスの実証運行を開始 【達成年度】 地域におけるコミュニティバスの本格運行	
	達成時期	平成２９年１０月	

スケジュール

取り組み	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
運行協議会			設立		役員会		役員会					役員会
運転車講習会				講習会								
ワゴン車購入				購入事務			納車					
運輸局への運行申請					申請		許可					
実証運行								11月実証運行開始				
実証運行の検証											検 利用者ｱﾝｹｰﾄ等	